

Cisco Wireless 9174 シリーズ アクセスポイント

目次

製品の概要	3
機能と利点	3
優れた機能	4
プラットフォームのサポート	6
ライセンス	7
製品仕様	7
アンテナパターン	14
発注情報	20
保証情報	20
製品持続可能性	20
シスコおよびパートナーの提供サービス	22
Cisco Capital	22

シスコ ワイヤレス Wi-Fi 7 アクセスポイントは、将来を見据えたあらゆる種類のワークプレイスに、インテリジェントで安全、かつ確実な接続を提供します。

製品の概要

シスコの Wi-Fi 7 アクセスポイントは、接続およびデジタル体験を変革するように設計されており、次世代のワイヤレス体験を実現します。前例のない速度、強化されたセキュリティ、復元力のある接続を提供する各製品は、高密度環境や重要なアプリケーションに適しています。また、既存のネットワーク（オンプレミス、クラウドベース、またはハイブリッド）にシームレスに統合され、組織のさまざまなニーズに合わせた柔軟な導入オプションを提供します。

Cisco® Wireless Wi-Fi 7 アクセスポイントは、革新的なユーザー体験を可能にします。企業は、Wi-Fi 7 の予測可能性と低遅延を活用して、より優れたビデオストリーミング、拡張現実（AR）アプリケーション、および仮想現実（VR）アプリケーションをサポートできます。Wi-Fi 7 を使用したシスコのワイヤレスソリューションは、物理空間内で人とモノをつなぐことで、屋内ナビゲーションやパーソナライズされたユーザー体験など、リアルタイムのインサイトとアクションを提供します。

シスコの Wi-Fi 7 ソリューションで、差別化された顧客体験を創出し、デジタル ビジネス トランスフォーメーションを促進し、将来に備えたネットワークを準備できます。Cisco Wireless 9174 シリーズ アクセスポイントは、データ転送速度の高速化、ネットワークの輻輳の軽減、および AI 主導のインサイトと自動化によって簡素化されたネットワーク管理により、未来のワイヤレスの基盤を提供します。

機能と利点

表 1. 機能と利点

機能	利点
Wi-Fi 7 (802.11be)	IEEE 802.11be 標準規格は、超高スループット（EHT）または Wi-Fi 7 とも呼ばれる Wi-Fi の最新規格です。4K-QAM、マルチリンクオペレーション（MLO）、拡張された直交周波数分割多重アクセス（OFDMA）、データ転送速度と接続パフォーマンスを向上させるために構築された 320 MHz チャンネル幅のプリアンブル パンクチャリング サポートなどで機能強化されており、特に AR や VR アプリケーションなどの低遅延を必要とするアプリケーションに適しています。
Wi-Fi 6E (802.11ax)	標準規格である IEEE 802.11ax（別名 High-Efficiency-Wireless（HEW）または Wi-Fi 6）は、802.11ac を基盤とする技術です。通常的环境ではより優れたエクスペリエンスを実現し、4K または 8K ビデオ、高密度高精度のコラボレーション アプリケーション、オールワイヤレスオフィス、IoT などの高度なアプリケーションでも、安定した性能を発揮できます。Wi-Fi 6E は Wi-Fi 6 を 6 GHz 周波数帯域に「拡張」したものです。
5G マルチギガビット イーサネット	マルチギガビット イーサネットは、最大 5 Gbps の速度を提供します。 注記：10 Gbps のポート速度には、Cat6/Cat6A ケーブルが必要です。Cat 5e ケーブルは、最大 5 Gbps の速度をサポートできます。
AP 電力の最適化（AP 省電力モード）	AP 省電力モードにより、アクセスポイントは、時間外や週末に無線をオフにし、必要な場合にはすべての機能を再起動するなどのスマートな動作で、電力消費を削減できます。これにより、電力を節約し、ワイヤレスネットワークを実行するための CO2 排出量を削減します。

機能	利点
帯域のステアリング	Wi-Fi 6E 対応クライアントは、自動的に 6 GHz 無線に接続され、同時にレガシークライアント用に 2.4 GHz および 5 GHz 無線が解放されることで、各無線で提供される利点を活用できます。
インテリジェントキャプチャ	ネットワークを調査して、Cisco Catalyst [®] Center に詳細な分析結果を提供します。このソフトウェアは、240 を超える異常を追跡し、すべてのパケットをオンデマンドですぐに確認できるため、オンサイトのネットワーク管理者のような役割を果たします。また、ワイヤレスネットワークに関して、詳細情報に基づいた意思決定を行うことができます。
フレキシブル ラジオ アサインメント (FRA)	RF 環境とトラフィックの需要に基づいて、クライアントが無線を提供する際の動作モードをアクセスポイントでインテリジェントに決定できます。シスコ ワイヤレス 9174I/E アクセスポイントは、2.4 GHz、5 GHz、6 GHz のトライラジオモード、または 2.4 GHz と 5 GHz のデュアルラジオモードに柔軟に設定できます。
Bluetooth/BLE	Bluetooth Low Energy (BLE) 5.3 無線技術を取り入れたことで、資産追跡、経路案内、分析などのロケーションベースの用途にも利用できます。将来のソフトウェアアップデートで BLE 6 にアップグレードできます。
アプリケーション ホスティング	オーバーレイネットワークをインストールして管理する必要がなくなるため、IoT のデプロイメントが将来にわたって容易になります。USB インターフェイスとコンテナ化されたアプリケーションおよびハードウェアモジュールを使用することでコストが減少し、シンプルになります。Cisco Catalyst Center を追加すると、導入環境全体でのアプリケーションのライフサイクル管理とワークフローが可能になります。
アプリケーション コンテナ サポート	ホストアクセスポイント上の IoT アプリケーションにエッジコンピューティングの機能を提供します。
加速度センサー	アクセスポイントの設置状況をデプロイメント後に継続的に検証できます。

シスコ ワイヤレス 9174 シリーズ機能のサポートの詳細については、[シスコの機能マトリックス](#)を参照してください。

優れた機能

グローバル ユース アクセス ポイントと Cisco Networking Subscription の概要

グローバル ユース アクセス ポイント

シスコの包括的な Wi-Fi 7 ポートフォリオを拡張する 9174 シリーズのグローバルに使用可能なアクセス ポイントは、最新のワイヤレスネットワークに復元力と拡張性があるソリューションを提供します。各アクセスポイントは、いずれの展開モードでもシームレスに動作し、将来必要な柔軟性と投資保護を提供します。

Cisco Wireless Wi-Fi 7 アクセスポイントを使用すると、シームレスかつスケーラブルで、わかりやすい管理モード検出に関するインテリジェントなプロセスを利用できます。グローバル ユース アクセス ポイントのオンボーディングプロセスにより、スタック固有の製品や規制ドメイン固有の製品が不要になり、設置時の時間と労力を節約できます。

シスコの Wi-Fi 7 グローバル ユース アクセス ポイントにより、シスコのワイヤレス製品ポートフォリオがさらに統合されます。オンプレミスまたはクラウドマネージド ネットワーキングを選択した場合、9174 シリーズ アクセス ポイントを使用すると、将来を見据えたネットワークを簡単に構築できます。

Cisco Networking Subscription

Cisco Networking サブスクリプションは、シスコのソフトウェア、ハードウェア、サービス、およびプラットフォームの購入と使用を合理化します。この統合ライセンスモデルは、同じ統合ライセンス、製品サポート、およびハードウェアを使用して、オンプレミス、クラウド、またはハイブリッドな方法でネットワークを管理する柔軟性を提供します。

Cisco Networking Subscription で新しい統合ライセンス（Cisco Wireless Essentials または Advantage）を購入できます。各ライセンスには、ハードウェアとソフトウェアの両方に対する製品サポートが含まれています。アクティブなサブスクリプションを使用すると、更新日をコストセンターのニーズに合わせて調整したり、更新日を変更せずにライセンスを追加したり、利用資格を途中でアップグレードしたりできます。Cisco Networking Subscription は柔軟な管理オプションを提供し、現在のネットワーク投資をサポートして、将来に向けて保護します。

注記：Cisco Networking サブスクリプションの詳細については、[データシート](#)を参照してください。

インフラストラクチャの保護

Cisco トラスト アンカー テクノロジーで構築された Trustworthy システムにより、シスコ製品のための、安全性の高い基盤が提供されます。シスコ ワイヤレス アクセス ポイントでは、サプライチェーンの信頼性を高め、ソフトウェアとファームウェアへの中間者攻撃に対する防御を強化するための、ハードウェアとソフトウェアの真正性に関するアシュアランスが可能になります。Trust Anchor の機能には、次のようなものがあります。

- イメージ署名
- セキュアブート
- シスコのトラストアンカーモジュール

Cisco Catalyst Center および Catalyst 9800 シリーズのサポート

シスコ ワイヤレス 9174 シリーズ アクセスポイントを Cisco Catalyst[®] 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラおよび Cisco Catalyst Center とペアリングすると、総合的なネットワークの変革を実現できます。Cisco Catalyst Center を使用すると、リアルタイム解析によりネットワークを十分に理解し、セキュリティ脅威をすばやく検出して封じ込め、自動化と仮想化によりネットワーク全体の一貫性を容易に実現できます。Cisco Wireless 9174 シリーズは、シスコの先進的な企業向けアーキテクチャであるソフトウェア定義型アクセス（SD-Access）をサポートしています。

Cisco Wireless 9174 シリーズ アクセスポイントをシスコのソリューションと組み合わせると、次のような機能が提供されます。

- Cisco Spaces
- Cisco Identity Services Engine
- Cisco DNA アナリティクスとアシュアランスおよびインテリジェントキャプチャ（iCAP）

注記：Cisco Catalyst Center の詳細については、[Cisco Catalyst Center ソリューションの概要](#)を参照してください。

Cisco Meraki Cloud Management

Cisco Wireless 9174 シリーズ アクセスポイントと Cisco Meraki[®] クラウドプラットフォームを組み合わせることで、組織はネットワークモニタリングと管理向けの統合された IT 体験を得られます。Meraki ダッシュボードは、業界をリードするクラウド IT プラットフォームにネットワークを接続する直感的でインタラクティブな Web インターフェイスを提供します。

Cisco Meraki はダッシュボードを通じて、ネットワークの最適化を自動化し、何千ものサイトやデバイスにポリシーとセグメンテーション構成を展開し、フルスタックネットワーク（Cisco SD-WAN から IoT テクノロジーへの

アクセスまで) を管理する洗練されたスケーラブルなツールを提供します。このプラットフォームは、世界中の 350 万を超えるアクティブなネットワークをサポートしています。

Cisco Wireless 9174 シリーズと Cisco Meraki を連携させると、次のような機能が提供されます。

- Cisco Spaces
- Cisco Identity Services Engine
- Meraki Health のインテリジェントな最適化とアシュアランス
- Cisco Meraki Vision、スマートカメラ、センター

注記：Cisco Meraki の詳細については、<https://meraki.cisco.com/products/> を参照してください。

プラットフォームのサポート

表 2. CW9174E サポート対象のアンテナとアクセサリ

製品 ID	アンテナの機能
CW-ANT-T-O2-D8	DART8 コネクタ付き無指向性天井取り付け型アンテナ
CW-ANT-T-D2-D8	DART8 コネクタ付き指向性パッチアンテナ、CW-MNT-ART2 マウントを含む
CW-ANT-T-O4-R	RP-TN コネクタ付き無指向性ダイポールアンテナ。AIR-CAB002-D8-R=- または CW-CAB-001-D8-R4 が必要です。数量: AP あたり 8 つのアンテナ (2.4 GHz、5 GHz、および 6 GHz モード)、または 4 つのアンテナ (2.4 GHz、および 5 GHzモード)
CW-MNT-9	統合型 AP マウント。CW9174E と CW-ANT-T-D2-D8 を単一ユニットに統合
CW-ACC-ADPT1	ブラウン フィールド アップグレード用に CW-ANT-T-D2-D8 を C-ANT9103 マウントで使用するアダプタ
AIR-ANT2524V4C-R/RS AIR-ANT2544V4M-R/RS AIR-ANT2566P4W-R/RS AIR-ANT2566D4M-R/RS AIR-ANT2513P4M-N/NS C-ANT9101 C-ANT9102 C-ANT9103 MA-ANT-3-C6 MA-ANT-3-D6 MA-ANT-3-E6 MA-ANT-3-F6	サポート対象の既存のシスコアンテナ。追加のコネクタアダプタが必要になる場合があります。

ライセンス

9174 シリーズを含む Cisco Wi-Fi 7 アクセスポイントには、Cisco Networking サブスクリプション、シスコ ワイヤレス Essentials またはシスコ ワイヤレス Advantage ライセンスが必要です。

ライセンス機能とサポートの詳細については、Cisco Networking サブスクリプション [データシート](#) を参照してください。

製品仕様

表 3. 仕様

項目	仕様
製品番号	シスコ ワイヤレス 9174 シリーズアクセスポイント <ul style="list-style-type: none">CW9174I : 無指向性アンテナを備えた屋内アクセスポイントCW9174E : 外部アンテナを備えた屋内アクセスポイント
ソフトウェア	Cisco IOS® XE ソフトウェアリリース 17.18.2 以降 Cisco Meraki MR32.1.5 以降
サポート対象の Wireless LAN コントローラ	Catalyst およびシスコ ワイヤレス 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ（物理または仮想） SD-Access モードで組み込み型ワイヤレスコントローラを持つ Catalyst 9000 スイッチ
802.11be	4 つの空間ストリーム（5 GHz、および6 GHz）を使用する 4x4 アップリンク/ダウンリンク マルチユーザー マルチ入力マルチ出力（MU-MIMO）、2 つの空間ストリーム（2.4 GHz）を使用する 2x2 アップリンク/ダウンリンク MU-MIMO（または） 4 つの空間ストリーム（2.4 GHz、および5 GHz）を使用する 4x4 アップリンク/ダウンリンク MU-MIMO 4096 QAM マルチリンクオペレーション プリアンブル パンクチャリング アップリンク/ダウンリンク OFDMA ターゲット起動時間（TWT） BSS カラーリング 最大比合成（MRC） 20、40、80、160、320 MHz チャンネル（6 GHz） 20、40、80、160 MHz チャンネル（5 GHz） 20 MHz チャンネル（2.4 GHz） 最大約 17.5 Gbps の PHY データレート（6 GHz で 4x4 320 MHz、5 GHz で 4x4 160 MHz、2.4 GHz で 2x2 20 MHz）または最大約 6.5 Gbps の PHY データレート（5 GHz で 4x4 160 MHz、2.4 GHz で 4x4 20 MHz） パケット集約 : Aggregate MAC Protocol Data Unit（A-MPDU）（送受信）、Aggregate MAC Service Data Unit（A-MSDU）（送受信） 802.11 Dynamic Frequency Selection（DFS） Cyclic Shift Diversity（CSD）サポート

項目	仕様
	Wi-Fi Protected Access 3 (WPA3) サポート
802.11ax	<p>4 つの空間ストリーム (5 GHz および 6 GHz) を使用する 4x4 アップリンク/ダウンリンク MU-MIMO、2 つの空間ストリーム (2.4 GHz) を使用する 2x2 アップリンク/ダウンリンク MU-MIMO (または)</p> <p>4 つの空間ストリーム (2.4 GHz、および 5 GHz) を使用する 4x4 アップリンク/ダウンリンク MU-MIMO</p> <p>アップリンク/ダウンリンク OFDMA</p> <p>1024 QAM</p> <p>TWT</p> <p>BSS カラーリング</p> <p>MRC</p> <p>802.11ax ビームフォーミング</p> <p>20、40、80、160 MHz チャンネル (5 および 6 GHz)</p> <p>20 MHz チャンネル (2.4 GHz)</p> <p>最大約 10 Gbps の PHY データレート (6 GHz で 4x4 160 MHz、5 GHz で 4x4 160 MHz、2.4 GHz で 2x2 20 MHz) または最大 5.4 Gbps の PHY データレート (5 GHz で 4x4 160 MHz、2.4 GHz で 4x4 20 MHz)</p> <p>パケット集約 : A-MPDU (送受信)、A-MSDU (送受信)</p> <p>802.11 DFS</p> <p>CSD サポート</p> <p>WPA2/WPA3 サポート</p>
802.11ac	<ul style="list-style-type: none"> • 4x4 空間ストリームを使用する 4x4 ダウンリンク MU-MIMO • MRC • 802.11ac ビームフォーミング • 20、40、80、160 MHz チャンネル • 最大 1.7 Gbps の PHY データレート (5 GHz で 4x4 160 MHz) • パケット集約 : A-MPDU (送受信)、A-MSDU (送受信) • 802.11 DFS • CSD サポート • WPA2/WPA3 サポート
802.11n バージョン 2.0 (および関連する) 機能	<ul style="list-style-type: none"> • 4 空間ストリームの 4 X 4 MIMO • MRC • 802.11n および 802.11a/g ビームフォーミング • 20 および 40 MHz チャンネル • 最大 1.5 Gbps の PHY データレート (5 GHz 帯で 40 MHz、2.4 GHz 帯で 20 MHz) • パケット集約 : A-MPDU (送受信)、A-MSDU (送受信) • 802.11 DFS • CSD サポート

項目	仕様
内蔵アンテナ	シスコ ワイヤレス 9174I <ul style="list-style-type: none"> • 2.4 GHz : ピークゲイン 5 dBi、内蔵アンテナ、全水平方向 • 5 GHz、ピークゲイン 5 dBi、内蔵アンテナ、全水平方向 • 6 GHz : ピークゲイン 6 dBi、内蔵アンテナ、全水平方向 • IoT : ピークゲイン 4 dBi、内蔵アンテナ、全水平方向
外部アンテナ	シスコ ワイヤレス 9174E <ul style="list-style-type: none"> • 無指向性アンテナ (CW-ANT-T-O2-D8) • 2.4 GHz : ピークゲイン 2 dBi、全水平方向 • 5 GHz : ピークゲイン 5 dBi、全水平方向 • 6 GHz : ピークゲイン 5 dBi、全水平方向 • IoT : ピークゲイン 2 dBi、全水平方向 • 指向性アンテナ (CW-ANT-T-D2-D8) • 2.4 GHz : ピーク利得 6.6 dBi、(75x75) 指向性 • 5 GHz : ピーク利得 5.7 dBi、(75x75) 指向性 • 6 GHz: ピーク利得 5.7 dBi、(75x75) 指向性 • IoT : ピーク利得 6.0 dBi、(75x75) 指向性
Interfaces	<ul style="list-style-type: none"> • 1x 100M/1000M/2.5G/5G マルチギガビット イーサネット (RJ-45) • デフォルト速度 115,200 bps の管理コンソールポート (RJ-45) • USB 2.0 (9W)
内蔵無線	<ul style="list-style-type: none"> • 専用 IoT 無線 • 専用トライバンドスキャン無線
インジケータ	<ul style="list-style-type: none"> • ステータス LED によるブートローダステータス、アソシエーションステータス、動作ステータス、ブートローダ警告、ブートローダエラーの表示
寸法 (幅 X 奥行 X 高さ)	<ul style="list-style-type: none"> • 9174I アクセスポイント (取り付けブラケットなし) : <ul style="list-style-type: none"> ◦ 22.6 x 22.6 x 4.9 cm (8.9 x 8.9 x 1.95 インチ) • 9174E アクセスポイント (取り付けブラケットなし) : <ul style="list-style-type: none"> ◦ 22.6 x 22.6 x 4.9 cm (8.9 x 8.9 x 1.95 インチ)
重量	シスコ ワイヤレス 9174I <ul style="list-style-type: none"> • 1.52 kg (3.36 ポンド) シスコ ワイヤレス 9174E <ul style="list-style-type: none"> • 1.47 kg (3.26 ポンド)

項目	仕様					
入力電力	CW9174I					
	電源	2.4 GHz 無線	5 GHz 無線	6 GHz 無線	リンク 速度	USB PD での 最大 Power over Ethernet (PoE) 要件
	802.3bt (クラス 5) (UPOE) または DC 電源	2 X 2	4 X 4	4 X 4	1x 5G	Y (9W) 37W
	802.3bt (クラス 5) (UPOE) または DC 電源	4 X 4	4 X 4	–	1x 5G	Y (9W) 32W
	802.3at (PoE+)	2 X 2	4 X 4	4 X 4	1 X 2.5G	Y (2.5 W) 25.5W
	802.3at (PoE+)	4 X 4	4 X 4	–	1 X 2.5G	Y (2.5 W) 25.5W
	802.3af (PoE)	1 x 1	–	–	1 X 1G	なし 13.95W
	CW9174E					
	電源	2.4 GHz 無線	5 GHz 無線	6 GHz 無線	リンク 速度	USB 最大 Power over Ethernet (PoE) PD での 要件
	802.3bt (クラス 5) (UPOE) または DC 電源	2 X 2	4 X 4	4 X 4	1x 5G	Y (9W) 37W
	802.3bt (クラス 5) (UPOE) または DC 電源	4 X 4	4 X 4	–	1x 5G	Y (9W) 32W
	802.3at (PoE+)	2 X 2	4 X 4	4 X 4	1 X 2.5G	Y (2.5 W) 25.5W
	802.3at (PoE+)	4 X 4	4 X 4	–	1 X 2.5G	Y (2.5 W) 25.5W
	802.3af (PoE)	1 x 1	–	–	1 X 1G	なし 13.95W

項目	仕様		
消費電力	CW9174I		
	電源	アイドル	標準
	802.3bt (UPOE)	12.4 W ± 2 W	20.6 W ± 4 W
	802.3at (PoE+)	12.4 W ± 2 W	18.2 W ± 4 W
	<p>注：実際の消費電力は、アクセスポイントの使用状況によって異なる場合があります。代表的な消費電力は、アクセスポイントが通常の業務時間中にトラフィック*を通過させ、業務時間外はアイドル状態であることを前提としています。営業時間は 11 時間/日、週 6 日間を想定しています。</p> <p>*テスト条件：</p> <p>802.3bt：160 MHz（4x4）で動作する 6 GHz、5 GHz 帯域はすべて、ダウンロードトラフィック帯域あたり 1 Gbps を通過させ、20 MHz（4x4）で動作する 2.4 GHz 帯域は、ダウンロードトラフィック帯域あたり 150 Mbps を通過させます。USB は無効化、10G イーサネットポート、周囲温度 25° C（77° F）にて。</p> <p>802.3at：160 MHz（2x2）で動作する 6 GHz および 5 GHz 帯域は、ダウンロードトラフィック帯域あたり 200 Mbps を通過させ、20 MHz（2x2）で動作する 2.4 GHz 帯域は、ダウンロードトラフィックあたり 50 Mbps を通過させます。USB は無効化、2.5G イーサネットポート、周囲温度 25° C（77° F）にて。</p>		
	CW9174E		
	電源	アイドル	標準
	802.3bt (UPOE)	12.4 W ± 2 W	20.6 W ± 4 W
	802.3at (PoE+)	12.4 W ± 2 W	18.2 W ± 4 W
	<p>注：実際の消費電力は、アクセスポイントの使用状況によって異なる場合があります。代表的な消費電力は、アクセスポイントが通常の業務時間中にトラフィック*を通過させ、業務時間外はアイドル状態であることを前提としています。営業時間は 11 時間/日、週 6 日間を想定しています。</p> <p>*テスト条件：</p> <p>802.3bt：160 MHz（4x4）で動作する 6 GHz、5 GHz 帯域はすべて、ダウンロードトラフィック帯域あたり 1 Gbps を通過させ、20 MHz（4x4）で動作する 2.4 GHz 帯域は、ダウンロードトラフィック帯域あたり 150 Mbps を通過させます。USB は無効化、10G イーサネットポート、周囲温度 25° C（77° F）にて。</p> <p>802.3at：160 MHz（2x2）で動作する 6 GHz 帯域および 5 GHz 帯域は、ダウンロードトラフィック帯域あたり 200 Mbps を通過させ、20 MHz（2x2）で動作する 2.4 GHz 帯域は、ダウンロードトラフィックあたり 50 Mbps を通過させます。USB は無効化、10G イーサネットポート、周囲温度 25° C（77° F）にて。</p>		

項目	仕様		
環境	シスコ ワイヤレス 9174I <ul style="list-style-type: none"> 非動作（保管）温度：-30 ～ 70 ° C (-22 ～ 158 ° F) 非動作（保管）時の高度試験：25 ° C (77 ° F)、4,570 m (15,000 フィート) 動作温度：0 ～ 50 ° C (32 ～ 122 ° F) 動作湿度：10 ～ 90%（結露しないこと） 動作高度試験：40 ° C (104 ° F)、3,000 m (9,843 フィート) 		
	シスコ ワイヤレス 9174E <ul style="list-style-type: none"> 非動作（保管）温度：-30 ～ 70 ° C (-22 ～ 158 ° F) 非動作（保管）時の高度試験：25 ° C (77 ° F)、4,570 m (15,000 フィート) 動作温度：-20 ～ 50 ° C (-4 ～ 122 ° F) 動作湿度：10 ～ 90%（結露しないこと） 動作高度試験：40 ° C (104 ° F)、3,000 m (9,843 フィート) 		
システムメモリ	<ul style="list-style-type: none"> 4096 MB DRAM 16 GB ストレージフラッシュ 		
利用可能な送信出力設定	シスコ ワイヤレス 9174I		
	2.4 GHz	5 GHz	6 GHz
	4x4 : <ul style="list-style-type: none"> 23 dBm (200 mW) -4 dBm (0.39 mW) 2x2 : <ul style="list-style-type: none"> 20 dBm (100 mW) -4 dBm (0.39 mW) 	<ul style="list-style-type: none"> 23 dBm (200 mW) -4 dBm (0.39 mW) 	<ul style="list-style-type: none"> 23 dBm (200 mW) -4 dBm (0.39 mW)
	シスコ ワイヤレス 9174E		
	2.4 GHz	5 GHz	6 GHz
	4x4 : <ul style="list-style-type: none"> 23 dBm (200 mW) -4 dBm (0.39 mW) 2x2 : <ul style="list-style-type: none"> 20 dBm (100 mW) -4 dBm (0.39 mW) 	<ul style="list-style-type: none"> 23 dBm (200 mW) -4 dBm (0.39 mW) 	<ul style="list-style-type: none"> 23 dBm (200 mW) -4 dBm (0.39 mW) <p>注：6 GHz 帯域の使用が許可されていない国、または現在のソフトウェアサポートがない国では、6 GHz 無線は無効になります。6 GHz 帯での製品の動作が認定された国では、今後のソフトウェアで無線が有効になる可能性があります。</p>

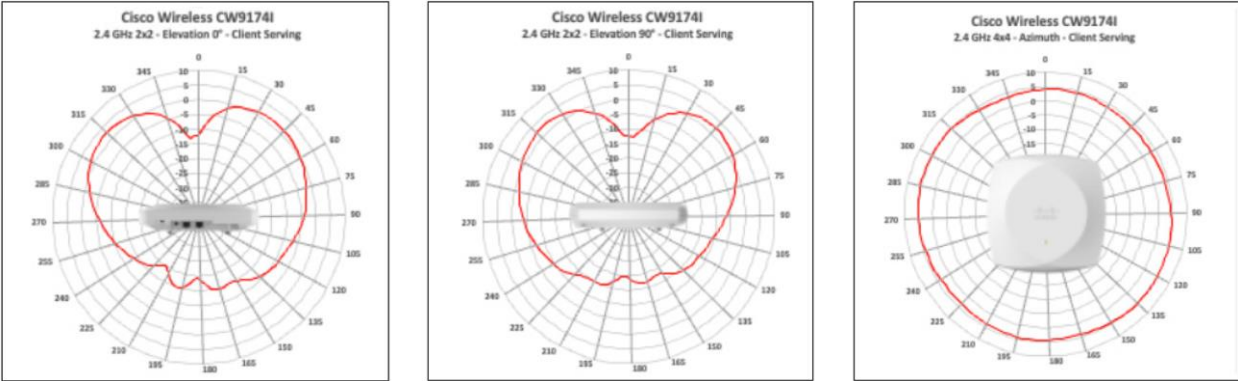
項目	仕様
適合規格	<ul style="list-style-type: none"> ● 安全性 : <ul style="list-style-type: none"> ◦ IEC 60950-1 / IEC 62368-1 Ed.3 (Ed.2 価格偏差に関する付録付き) ◦ EN 60950-1 / EN 62368-1 Ed.3 (Ed.2 価格偏差に関する付録付き) ◦ UL 60950-1 / UL62368-1 3rd (Ed.2 価格偏差に関する付録付き) ◦ CAN/CSA-C22.2 No. 60950-1 / CAN/CSA-C22.2 No. 62368-1 3rd (Ed.2 価格偏差に関する付録付き) ◦ AS/NZS60950.1 / AS/NZS62368.1 Ed.3 (Ed.2 価格偏差に関する付録付き) ◦ UL 2043 ◦ クラス III 機器 ● エミッション : <ul style="list-style-type: none"> ◦ CISPR 32 (rev. 2015) + AMD1:2019 ◦ EN 55032:2015/A11:2020 ◦ EN IEC 61000-3-2:2019/A1:2021 ◦ EN 61000-3-3:2013+A1:2019 ◦ AS/NZS CISPR32: 2015+AMD1:2020 ◦ 47 CFR FCC Part 15B ◦ ICES-003 (Issue 7, Class B) ◦ VCCI-CISPR 32:2016 ◦ CNS 13438:2006 (95) ◦ KS C 9832:2019 ◦ QCVN 118:2018/BTTTT ● イミュニティ : <ul style="list-style-type: none"> ◦ EN 55035:2017+A11:2020 ◦ KS C 9835:2019 ● エミッションとイミュニティ : <ul style="list-style-type: none"> ◦ EN 301 489-1 V2.2.3 (2019-11) ◦ EN 301 489-17 V3.2.4 (2020-09) ◦ QCVN (18:2014) ◦ QCVN 112:2017/BTTTT ◦ KS X 3124:2020 ◦ KS X 3126:2020 ◦ EN 61000-6-1:2019 ◦ EN 60601-1-2:2015+A1:2021 ● 無線機 : <ul style="list-style-type: none"> ◦ EN 300 328 (v2.2.2) ◦ EN 301 893 (v2.1.1) ◦ EN 303 687 (v0.0.14、ドラフト) ◦ AS/NZS 4268 (rev. 2017) ◦ 47 CFR FCC Part 15C、15.247、15.407 ◦ RSP-100 ◦ RSS-GEN ◦ RSS-247 ◦ LP0002 (109) ◦ 日本 Std. 66、Std. 71 ● RF の安全性 : <ul style="list-style-type: none"> ◦ EN 50385:2017 ◦ AS/NZS 2772 (rev. 2016) ◦ 47 CFR Part 2.1091 ◦ RSS-102 ◦ IEEE 標準 : ◦ IEEE 802.3 ◦ IEEE 802.3ab ◦ IEEE 802.3af/at ◦ IEEE 802.11a/b/g/n/ac/ax/be ◦ IEEE 802.11h、802.11d ● セキュリティ : <ul style="list-style-type: none"> ◦ 802.11i (WPA2、WPA3) ◦ 802.1x/802.1x : SHA256 ◦ Enhanced Open/OWE ◦ Advanced Encryption Standard (AES) : GCMP128、GCMP256、および CCMP256 ● 拡張認証プロトコル (EAP) の種類 : <ul style="list-style-type: none"> ◦ EAP-Transport Layer Security (TLS) ◦ EAP-Tunneled TLS (TTLS) または Microsoft Challenge Handshake Authentication Protocol (MSCHAP) v2 ◦ Protected EAP (PEAP) v0 または EAP-MSCHAP v2 ◦ EAP-Flexible Authentication via Secure Tunneling (EAP-FAST) ◦ PEAP v1 または EAP-Generic Token Card (GTC) ◦ EAP-Subscriber Identity Module (SIM)

項目	仕様
認定	<ul style="list-style-type: none"> ● Wi-Fi Alliance : Wi-Fi 7 (R1) 、 Wi-Fi 6 (R2) 、 Wi-Fi 6E、 WPA3-R3、 WPA3-Suite B、 Enhanced Open Security ● Bluetooth SIG : Bluetooth Low Energy

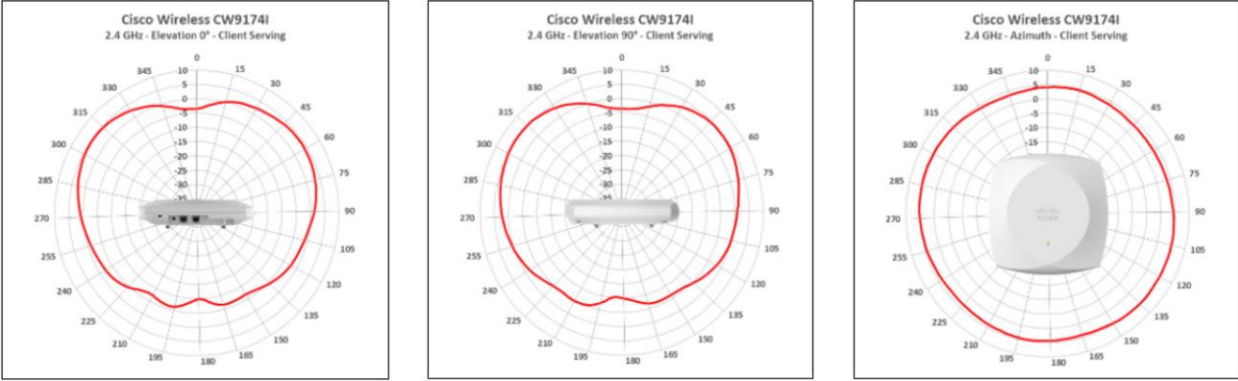
アンテナパターン

CW9174I パターン

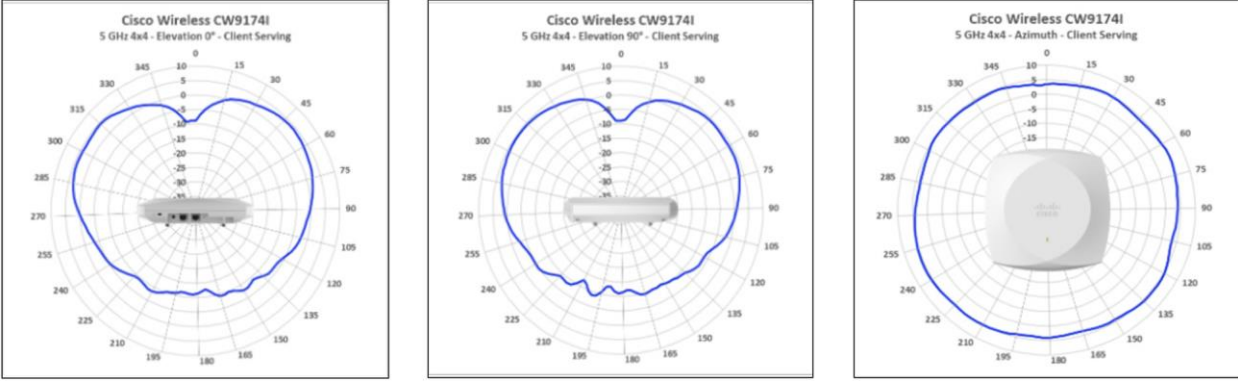
CW9174I 2.4 GHz クライアントにサービスを提供する無線（2x2）



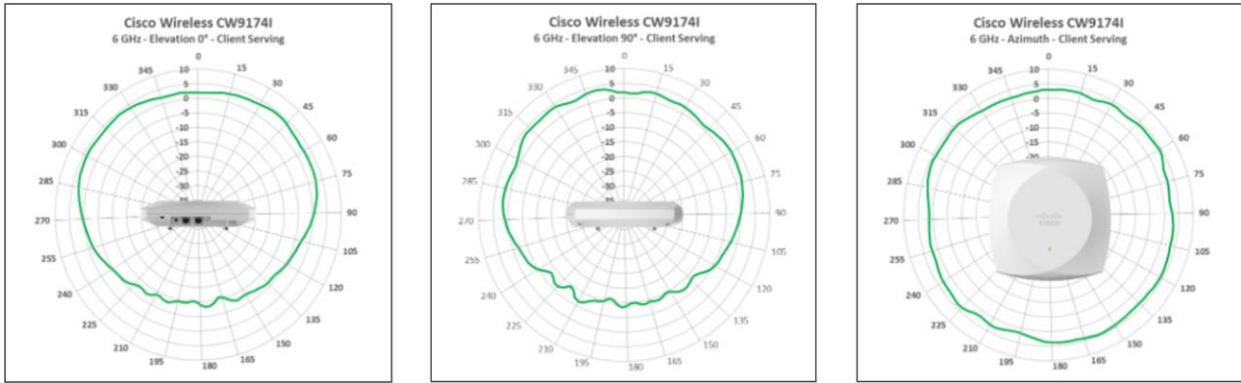
CW9174I 2.4 GHz クライアントにサービスを提供する無線（4x4）



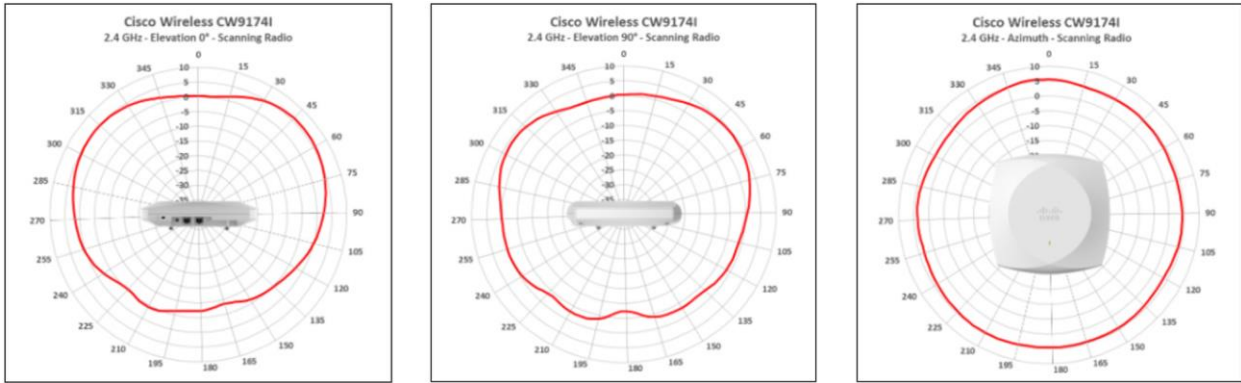
CW9174I 5 GHz クライアントにサービスを提供する無線



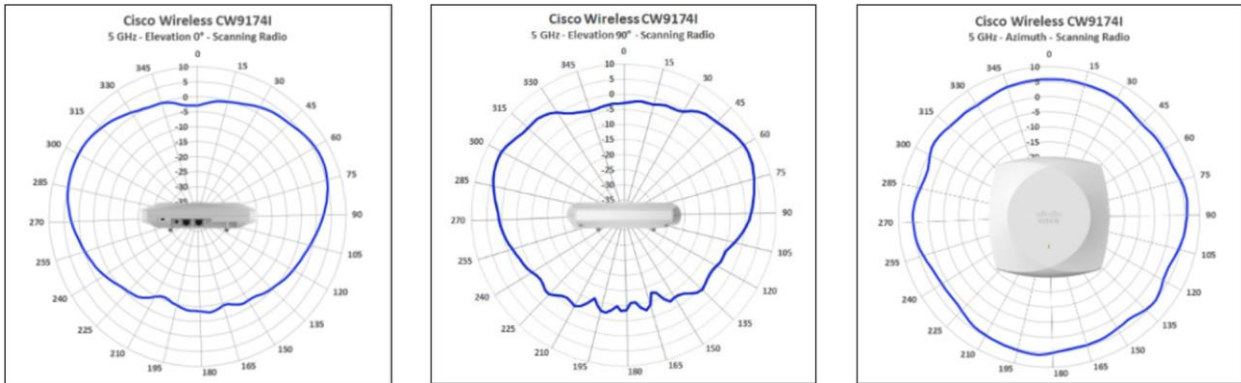
CW9174I 6 GHz クライアントにサービスを提供する無線



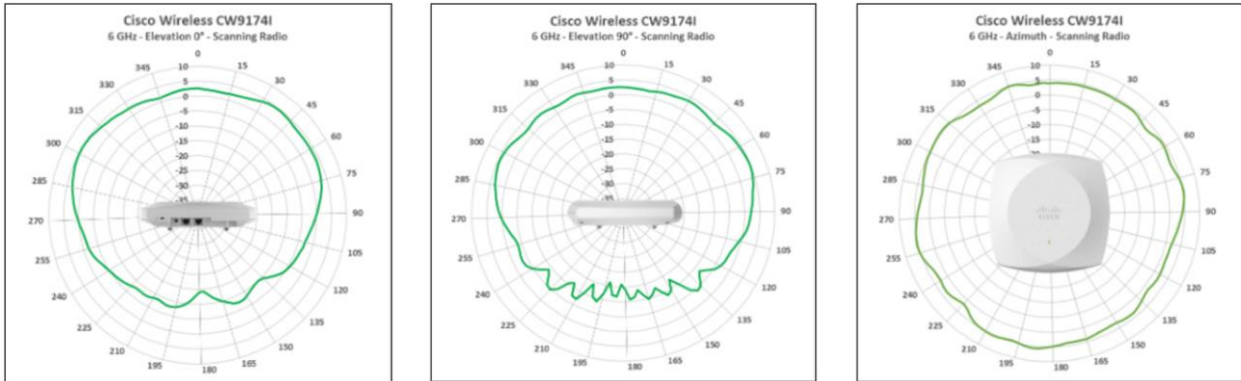
CW9174I 2.4 GHz スキャン無線



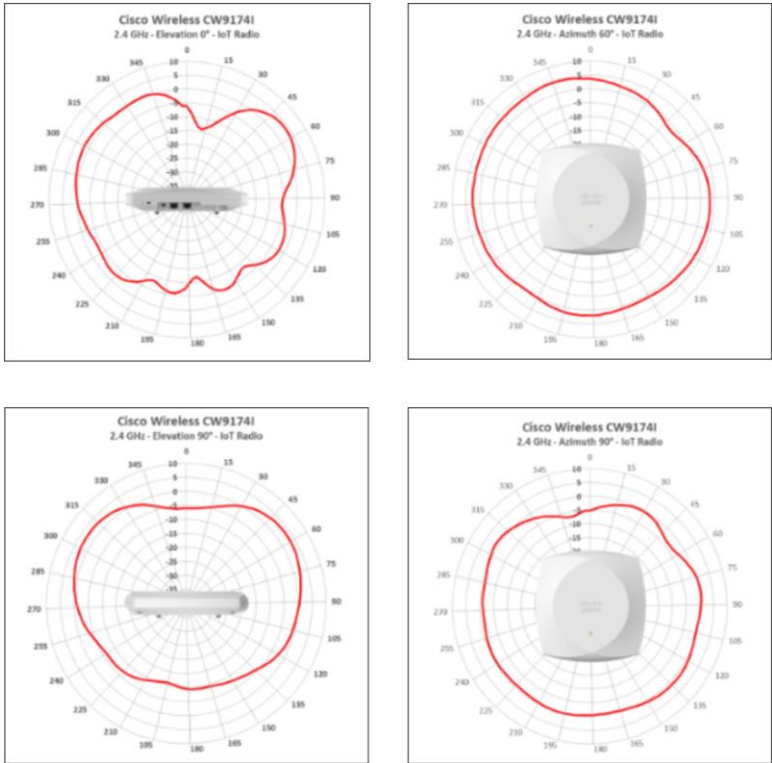
CW9174I 5 GHz スキャン無線



CW9174I 6 GHz スキャン無線

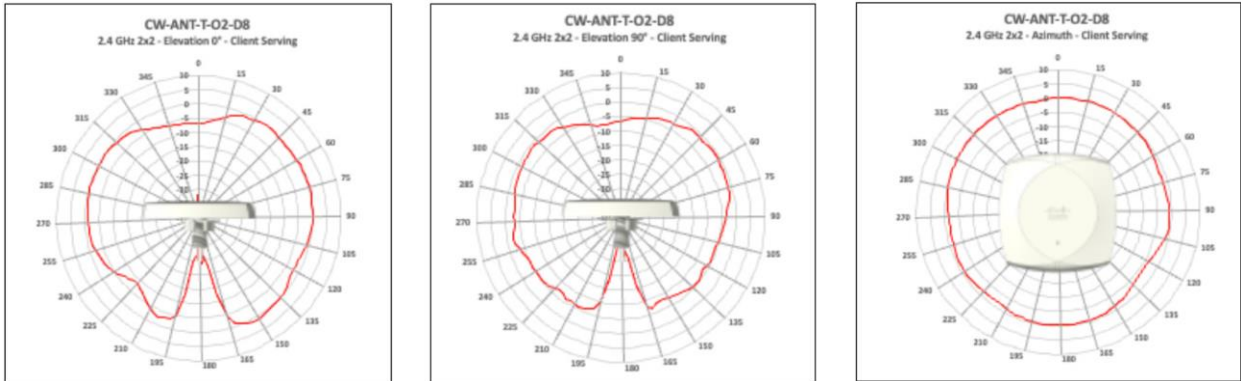


CW9174I 2.4 GHz IoT 無線

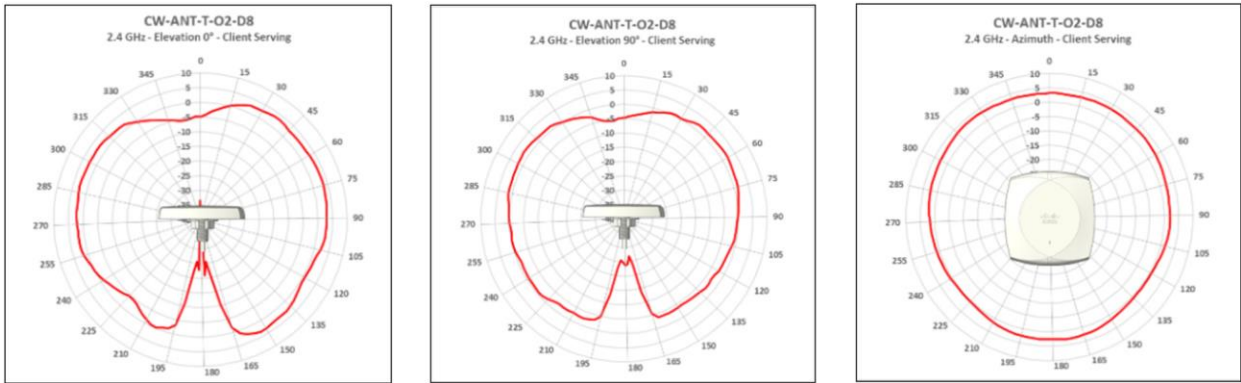


CW9174E パターン

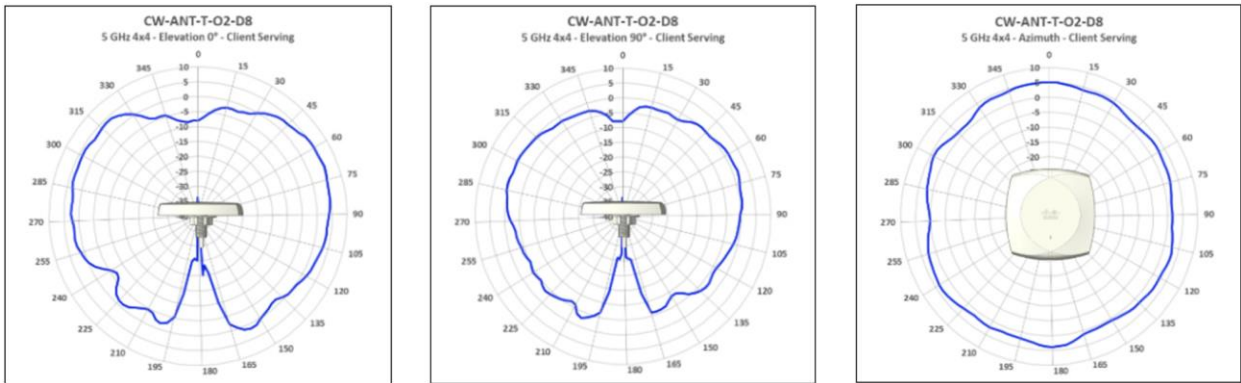
CW-ANT-T-O2-D8、無指向性アンテナ 2.4 GHz クライアントにサービスを提供する無線 (2x2)



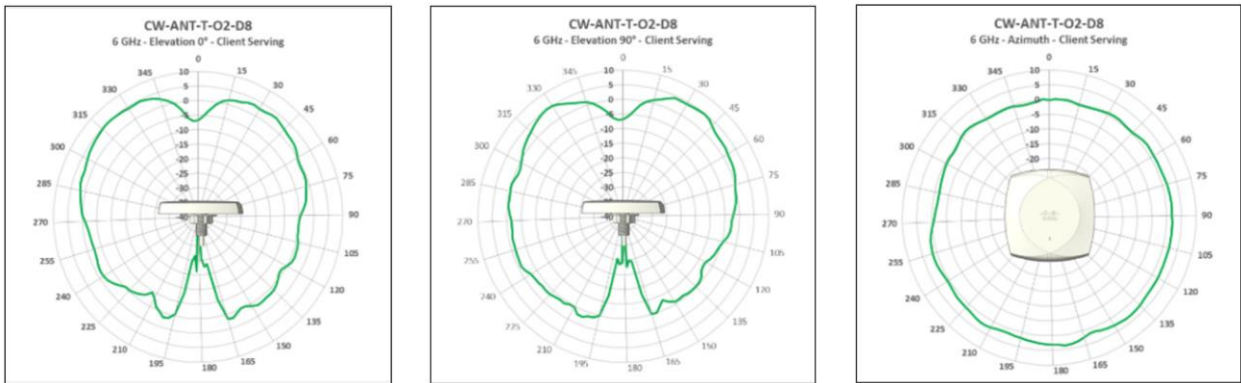
CW-ANT-T-O2-D8、無指向性アンテナ 2.4 GHz クライアントにサービスを提供する無線 (4x4)



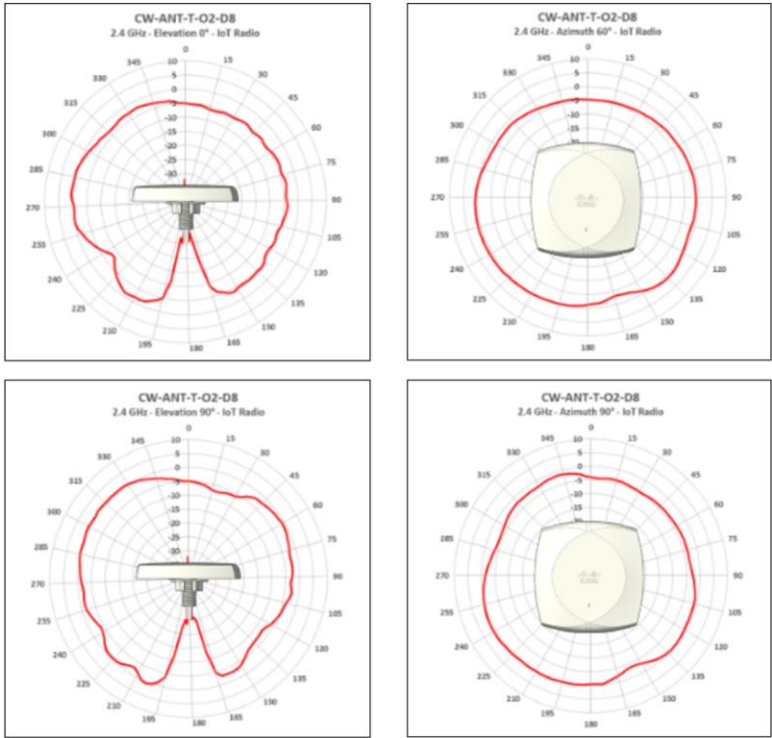
CW-ANT-T-O2-D8、無指向性アンテナ 5 GHz クライアントにサービスを提供する無線



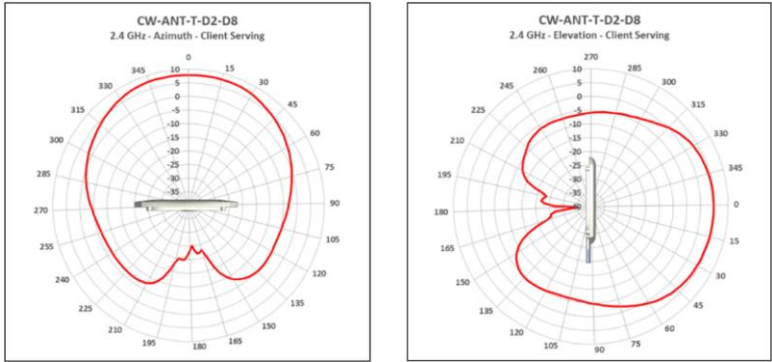
CW-ANT-T-O2-D8、無指向性アンテナ 6 GHz クライアントにサービスを提供する無線



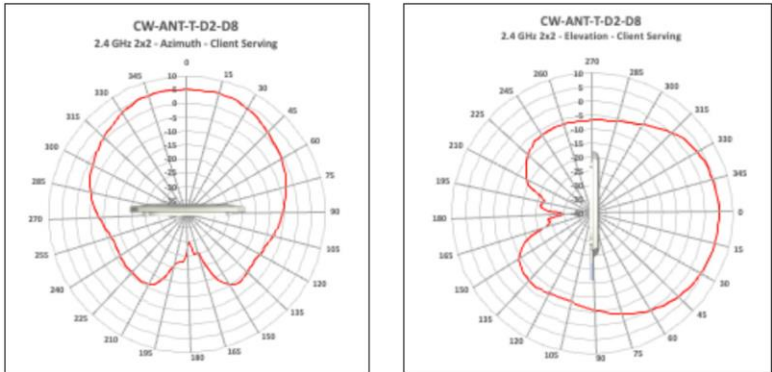
CW-ANT-T-O2-D8、無指向性アンテナ 2.4 GHz IoT 無線



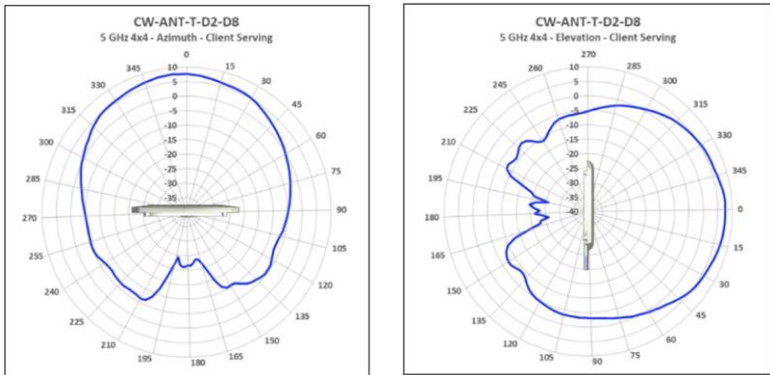
CW-ANT-T-D2-D8、指向性アンテナ 2.4 GHz クライアントにサービスを提供する無線 (4x4)



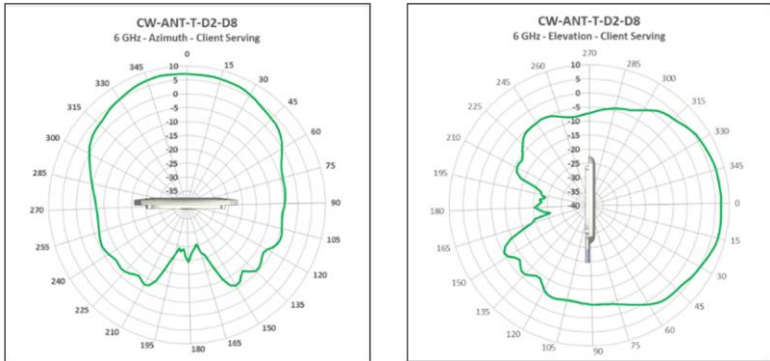
CW-ANT-T-D2-D8、指向性アンテナ 2.4 GHz クライアントにサービスを提供する無線 (2x2)



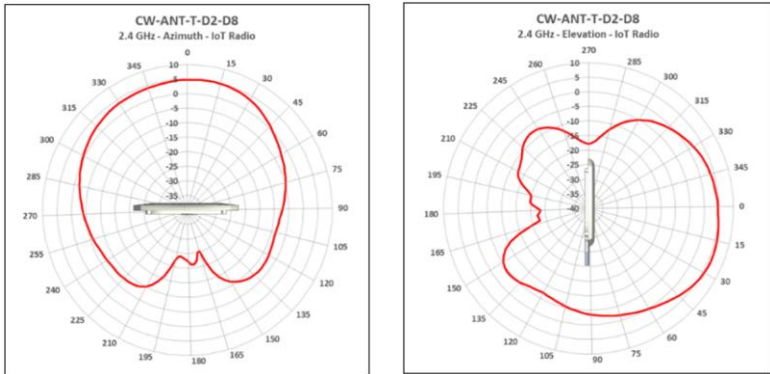
CW-ANT-T-D2-D8、指向性アンテナ 5 GHz クライアントにサービスを提供する無線



CW-ANT-T-D2-D8、指向性アンテナ 6 GHz クライアントにサービスを提供する無線



CW-ANT-T-D2-D8、指向性アンテナ 6 GHz クライアントにサービスを提供する無線



発注情報

Cisco Wireless 9174 シリーズ アクセスポイントを利用できます。発注方法については、[購入のご案内](#)のホームページまたは [Cisco Wireless 発注ガイド](#) [英語] を参照してください。

その他の製品番号については、[Cisco Wi-Fi 7 製品](#)の価格表を参照するか、お近くのシスコアカウント担当者にお問い合わせください。

保証情報

Cisco Wireless 9174 シリーズ アクセスポイントには、制限付きライフタイム保証が付属しています。この保証では、製品を購入したエンドユーザーが所有または使用し続ける限り、ハードウェアに対する包括的な保証が提供されます。この保証には、5 日間の代替品先行手配が含まれます。また、ソフトウェアメディアについては、90 日間、障害が発生しないことを保証します。詳細については、<https://www.cisco.com/jp/go/warranty> を参照してください。

製品持続可能性

シスコは、製造から使用後まで、製品ライフサイクルに持続可能性を組み込んでいます。シスコの[循環型設計の原則](#)を考慮して設計されたシスコの製品は、効率的なアーキテクチャ設計、電力消費、エネルギー管理、梱包の持続可能性、および回収に対処するものなど、個々とポートフォリオ全体の両方のプログラムとイノベーションを備えています。これらの要素は、運用コストの削減、温室効果ガス（GHG）排出量ネットゼロ目標の推進、およびその他の持続可能性関連の取り組みにおいて非常に重要です。

シスコの環境、社会、ガバナンス（ESG）への取り組みおよび実績に関する情報は、[シスコの事業目的の報告ハブ](#)でご覧いただけます。

表 4. シスコの環境保全に関する情報

持続可能性に関するトピック		参照先
電源	消費電力	スタンダアロン アクセス ポイントでの代表的な消費電力とアイドル状態の消費電力 表 2：製品仕様の消費電力セクション
エネルギー管理	エネルギー管理ダッシュボード	Catalyst Center ダッシュボードは包括的なエネルギー管理機能を提供します。これにより、ユーザーは電力使用、エネルギー構成、コスト、および CO2e 排出量を監視し、エネルギー消費をリアルタイムで最適化できます。 Cisco Catalyst Center Release Notes
	AP 省電力モード	AP 省電力モードにより、ユーザーは特定の機能を無効化して、業務時間外の消費電力を削減したり、低下 PoE モードで重要な機能に電力を再分配することができます。 AP 省電力設定ガイド
	ポートスケジューリング	ポートスケジュールにより、ユーザーはカスタムスケジュールでアクセスポイントへの Power over Ethernet (PoE) 電源をオフにして、業務時間外の電力消費を減らすことができます。 Cisco Meraki ポートスケジュール
材料、モジュール性、および	ハードウェアの	アクセスポイントのブラケットは旧来のシスコのアクセスポイン

持続可能性に関するトピック		参照先
再利用	モジュール性	トから再利用できるため、無駄が減り、アップグレードが簡素化されます。
	効率的なアクセスポイントアーキテクチャ	ダイオードを FET （フィールド効果トランジスタ）に置き換えて、電力損失を低減します。
	シスコの回収および再利用プログラム	お客様は使用済みの機器を返却してリサイクルと再利用の責任を果たすことができます。 製品回収と再利用
	Cisco Refresh （認定再生品）	認定された再生品を提供し、新しい機器に対する費用対効果の高い代替手段を提供します。 Cisco Refresh（認定再生品）
パッケージ	使い捨てプラスチックの排除	アクセサリ用のビニール袋を、紙製の梱包材に置き換えました。
	繊維素材を基本とする梱包	フォームをリサイクル可能なファイバベースのソリューションに置き換えます。
	再生含有物	段ボール材料には、再生含有物が含まれています。
	アクセサリの除外	お客様はデフォルトのアクセサリを除外することができます。 シスコ ワイヤレス発注ガイド
	マルチパック	Catalyst および Meraki のお客様向けのマルチパック パッケージオプションです。梱包量を減らし、大規模な展開を簡素化し、出荷時の重量、コスト、および CO2 排出量を削減します。
適合規格の遵守	環境に関する準拠	適用される環境に関する法律および規制へのシスコのコンプライアンスに関する情報は、シスコの事業目的の報告ハブの「環境コンプライアンス」セクションでご覧いただけます。 環境に関する準拠
	製品認可ステータス（PAS）データベース	特定の国における特定のシスコ製品の認定ステータスに関する情報は、シスコのセルフサービスの PAS （製品承認ステータス）データベースで入手できます。 PAS データベース
	製品関連材料の規則遵守	該当する製品関連材料の法律に関するシスコの位置づけ（危険物質に関する制限（RoHS）、化学物質の登録、評価、認可、制限（REACH）など）をご覧ください。 RoHS および REACH
	電気電子機器廃棄物（WEEE）、バッテリー、梱包に関する規則遵守	該当する製品関連のリサイクル、バッテリー、および梱包の法律に関するシスコの位置づけをご覧ください。 WEEE、バッテリーおよび梱包
	シスコの梱包資材およびコード	シスコ製品の梱包に使用される梱包資材の ID がご覧になれます。 梱包資材 およびコード
一般	持続可能性に関するお問い合わせ	シスコの一般および製品固有のサステナビリティへの取り組みに関する質問や情報についてはこのエイリアスにお問い合わせください。

持続可能性に関するトピック		参照先
		csr_inquiries@cisco.com
	シスコの会社方針、立場、指針	シスコの環境保全に関するポリシー、立場、および指針へのリンクについては、シスコの事業目的の報告ハブの「ポリシー、立場、指針」セクションに記載されています。 会社方針、立場、指針
	Cisco Green Pay	Cisco Green Pay は、柔軟な支払いオプションを提供することで、持続可能なテクノロジーの導入を促進することを目的とした資金調達プログラムです。 Green Pay

シスコおよびパートナーの提供サービス

シスコサービスは、優れたインフラストラクチャを、低リスクで迅速に実現できるよう支援します。Cisco Wireless 9174 シリーズ向けのサービスでは、導入段階の WLAN 準備アセスメントから実装、完全なソリューションサポート、踏み込んだ内容のトレーニングに至るまでエキスパートによる支援体制を整えており、新しいアクセスポイントの計画、導入、管理、サポートを円滑に進めていただけます。ネットワーキングに関する、シスコサービスの比類ない専門知識、ベストプラクティス、革新的なツールにより、ネットワークにハードウェア、ソフトウェア、プロトコルを新しく導入する際のアップグレード、更新、移行にかかるコストを全体的に削減できます。シスコのエキスパートが提示する、包括的なサービスライフサイクルによって、中断を最小限に抑えて業務効率を改善でき、シスコのインフラストラクチャから最大限の価値を得られます。詳細については、<https://www.cisco.com/go/services> [英語] を参照してください。

Cisco Capital

目的達成に役立つ柔軟な支払いソリューション

Cisco Capital により、目標を達成するための適切なテクノロジーを簡単に取得し、ビジネス変革を実現し、競争力を維持できます。総所有コスト (TCO) の削減、資金の節約、成長の促進に役立ちます。100 カ国あまりの国々では、ハードウェア、ソフトウェア、サービス、および他社製製品を購入するのに、シスコの柔軟な支払いソリューションを利用して、簡単かつ計画的に支払うことができます。[詳細はこちらをご覧ください。](#)

米国本社
カリフォルニア州サンノゼ

アジア太平洋本社
シンガポール

ヨーロッパ本社
アムステルダム (オランダ)

シスコは世界各国に約 400 のオフィスを開設しています。オフィスの住所、電話番号、FAX 番号は当社の Web サイト (www.cisco.com/jp/go/offices) をご覧ください。

Cisco および Cisco ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。シスコの商標の一覧については、www.cisco.com/jp/go/trademarks をご覧ください。記載されているサードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。「パートナー」または「partner」という言葉が使用されていても、シスコと他社の間にパートナーシップ関係が存在することを意味するものではありません。(1110R)